

2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月30日

上場会社名 株式会社ホットランド 上場取引所 東
 コード番号 3196 URL http://www.hotland.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐瀬 守男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 武藤 靖 TEL 03 (3553) 8885
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	12,819	△19.9	116	△86.5	194	△76.6	△604	—
2019年12月期第2四半期	16,011	5.0	858	101.2	831	118.3	470	—

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 △439百万円 (—%) 2019年12月期第2四半期 417百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	△28.12	—
2019年12月期第2四半期	25.45	25.22

(注) 2020年12月期第2四半期連結累計期間における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第2四半期	19,716	7,315	35.0	320.87
2019年12月期	17,730	7,753	42.0	346.31

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 6,904百万円 2019年12月期 7,448百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期 (予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期2Q	21,518,400株	2019年12月期	21,508,600株
② 期末自己株式数	2020年12月期2Q	－株	2019年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期2Q	21,513,554株	2019年12月期2Q	18,481,126株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は2020年8月7日（金）に当社ウェブサイトに掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(追加情報)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により著しく経済活動が停滞するなど、先行きが見えない極めて厳しい事業環境となりました。

このような状況下、当社グループにおきましても、政府の緊急事態宣言を受けて一時休業となった商業施設内の店舗や繁華街の酒場業態等において、4月は295店舗、5月は290店舗が臨時休業を余儀なくされました。緊急事態宣言解除後は徐々に営業を再開し始めたものの、従業員の体調チェックやマスク等の着用、定期的な手洗い、アルコール消毒液での手指や調理器具等の消毒など、お客様と従業員の安全を第一に心がけた衛生管理を徹底し、さらに感染拡大防止の観点から、営業時間の短縮や店内の座席の間隔を空けるなど、従前とは異なる新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めた店舗運営を行ったことから、例年と比較して大きく収益の減少となりました。

また、新型コロナウイルス感染症の収束時期が見通せない状況を踏まえ、役員報酬の減額を始めとして全社を挙げたコスト圧縮への取り組みも行っています。資金面においては、店舗の休業や売上減少が長期化するリスクに備え、運転資金を手厚くし、財務基盤を強固なものとするため金融機関からの資金の借入を実施いたしました。

事業活動におきましては、現在の非常に厳しい環境を踏まえ、出店計画の見直しや、積極的な不採算店舗の閉店・業態変更等に取り組むとともに、このような状況下でも継続的な活動・成長を維持すべく、より高い収益性を確保するための店舗体制の構築に、柔軟かつ迅速に取り組んでおります。また、既存店売上高を向上させるため、築地銀だこ業態においては、テイクアウト商品のさらなる強化・拡充、酒場業態においてもテイクアウト比率の高い店舗モデルの開発やランチメニューの強化、デリバリーサービスの拡大など、様々な対策に取り組んでおります。

製販事業では、冷凍たこ焼の卸販売商品の内、専門店向け商品は一部減少いたしました。大手コンビニエンスストア向け商品が伸長し、卸販売全体としては売上増となりました。

海外事業では、新型コロナウイルスの感染拡大による店舗休業等の影響が大きく、引き続き厳しい状況となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は12,819百万円(前年同期比19.9%減)、営業利益は116百万円(前年同期比86.5%減)、経常利益は194百万円(前年同期比76.6%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大を受けた緊急事態宣言の発令に伴う店舗の臨時休業等により発生した費用及び損失、酒場業態店舗等の退店等に伴う固定資産除却損や店舗整理損失及び固定資産の減損等の特別損失の計上、一方で休業手当を支給したことによる雇用調整助成金143百万円の特別利益の計上などにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は604百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益470百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状況の分析

① 資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して1,985百万円増加し19,716百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が3,052百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が1,297百万円減少したこと等によるものであります。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して2,424百万円増加し12,400百万円となりました。その主な要因は、未払金が493百万円、長期借入金が480百万円減少した一方、短期借入金が4,225百万円増加したこと等によるものであります。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して438百万円減少し、7,315百万円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失604百万円の計上による利益剰余金の減少等によるものです。

キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高(以下「資金」という)は3,052百万円増加し、5,336百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、増加した資金は67百万円(前年同四半期は790百万円の増加)であります。この増加は主に減価償却費471百万円と売上債権の減少1,301百万円があった一方で、税金等調整前四半期純損失432百万円、仕入債務の減少288百万円、未払金の減少376百万円及び法人税等の支払額302百万円があったことによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、減少した資金は725百万円(前年同四半期は1,048百万円の減少)であります。この減少は主に有形固定資産の取得による支出660百万円があったことによるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、増加した資金は3,707百万円(前年同四半期は636百万円の増加)であります。この増加は主に長期借入金の返済による支出480百万円があった一方で、短期借入金の純増加額4,225百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により内外経済をさらに下振れさせるリスクが顕在化しており、先行きに対する懸念材料があります。

このような環境の中、当社グループは各種施策を着実に実行してまいりますが、2020年12月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を合理的に算定することが困難なため、引き続き未定とさせていただきます。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,284,819	5,336,882
受取手形及び売掛金	2,427,843	1,129,947
たな卸資産	2,108,202	2,161,964
その他	672,738	932,898
貸倒引当金	△48,932	△42,131
流動資産合計	7,444,671	9,519,562
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,077,667	4,962,142
その他(純額)	1,067,967	1,044,886
有形固定資産合計	6,145,634	6,007,029
無形固定資産		
のれん	283,289	267,101
その他	192,575	161,188
無形固定資産合計	475,864	428,289
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,389,483	2,379,911
その他	1,304,246	1,394,799
貸倒引当金	△29,779	△13,577
投資その他の資産合計	3,663,950	3,761,133
固定資産合計	10,285,450	10,196,452
資産合計	17,730,121	19,716,014
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,066,848	780,425
短期借入金	100,000	4,325,009
1年内返済予定の長期借入金	954,144	954,144
未払金	1,340,221	846,735
未払法人税等	388,334	117,137
賞与引当金	76,305	103,622
資産除去債務	42,653	41,315
その他	1,047,570	832,558
流動負債合計	5,016,078	8,000,948
固定負債		
長期借入金	3,678,294	3,198,192
資産除去債務	624,960	612,826
退職給付に係る負債	64,823	60,698
その他	592,060	527,615
固定負債合計	4,960,138	4,399,332
負債合計	9,976,217	12,400,281

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,294,699	3,295,924
資本剰余金	3,183,575	3,184,800
利益剰余金	786,999	74,590
株主資本合計	7,265,274	6,555,316
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	417	△423
繰延ヘッジ損益	193,658	358,352
為替換算調整勘定	△5,493	△4,035
退職給付に係る調整累計額	△5,233	△4,523
その他の包括利益累計額合計	183,348	349,370
非支配株主持分	305,280	411,046
純資産合計	7,753,904	7,315,732
負債純資産合計	17,730,121	19,716,014

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	16,011,281	12,819,199
売上原価	6,230,547	5,101,148
売上総利益	9,780,733	7,718,050
販売費及び一般管理費	8,922,731	7,601,995
営業利益	858,002	116,054
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,250	1,656
為替差益	—	89,148
補助金収入	—	10,603
その他	6,060	17,287
営業外収益合計	7,310	118,695
営業外費用		
支払利息	19,175	16,322
為替差損	11,297	—
支払手数料	2,139	3,711
貸倒引当金繰入額	—	17,500
その他	1,250	2,493
営業外費用合計	33,863	40,026
経常利益	831,449	194,723
特別利益		
固定資産売却益	16	—
受取補償金	—	6,025
子会社株式売却益	41,580	—
雇用調整助成金	—	143,138
特別利益合計	41,597	149,163
特別損失		
固定資産除却損	23,982	283,199
店舗整理損失	49,639	112,728
投資有価証券評価損	—	16,585
減損損失	21,039	48,251
臨時休業等による損失	—	315,535
特別損失合計	94,661	776,300
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	778,386	△432,413
法人税、住民税及び事業税	179,301	57,875
法人税等調整額	95,902	115,370
法人税等合計	275,204	173,245
四半期純利益又は四半期純損失(△)	503,182	△605,658
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	32,884	△792
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	470,297	△604,865

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	503,182	△605,658
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,397	△840
為替換算調整勘定	△11,352	1,753
退職給付に係る調整額	545	709
繰延ヘッジ損益	△72,563	164,694
その他の包括利益合計	△85,768	166,316
四半期包括利益	417,413	△439,342
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	391,745	△438,844
非支配株主に係る四半期包括利益	25,668	△497

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	778,386	△432,413
減価償却費	478,998	471,822
減損損失	21,039	48,251
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6,000	△9,023
受取利息及び受取配当金	△1,250	△1,656
支払利息	19,175	16,322
雇用調整助成金	—	△143,138
補助金収入	—	△10,603
為替差損益(△は益)	—	△94,523
売上債権の増減額(△は増加)	860,224	1,301,326
たな卸資産の増減額(△は増加)	△486,591	△53,516
仕入債務の増減額(△は減少)	△283,850	△288,960
賞与引当金の増減額(△は減少)	23,943	27,317
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,013	△3,102
固定資産除売却損益(△は益)	23,965	283,199
子会社株式売却損益(△は益)	△41,580	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	16,585
未払金の増減額(△は減少)	△512,927	△376,649
未払費用の増減額(△は減少)	△13,163	△110,880
未払消費税等の増減額(△は減少)	△27,352	△172,109
その他の資産・負債の増減額	64,655	△94,786
小計	899,684	373,461
利息及び配当金の受取額	1,250	1,656
利息の支払額	△19,175	△16,322
補助金の受取額	—	10,603
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△90,954	△302,085
営業活動によるキャッシュ・フロー	790,805	67,312
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△985,554	△660,675
有形固定資産の売却による収入	285	—
無形固定資産の取得による支出	△9,866	△1,632
資産除去債務の履行による支出	△19,356	△57,601
差入保証金の差入による支出	△160,686	△110,790
差入保証金の回収による収入	111,752	121,583
子会社株式の売却による収入	54,328	—
投資有価証券の取得による支出	△16,821	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	1,754
貸付金の回収による収入	17,411	8,199
その他	△39,694	△26,076
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,048,202	△725,239
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,110,000	4,225,139
長期借入金の返済による支出	△441,372	△480,102
長期未払金の返済による支出	△40,576	△39,008
リース債務の返済による支出	△590	—
株式の発行による収入	9,100	2,450
非支配株主からの払込みによる収入	—	106,263
配当金の支払額	—	△107,542
財務活動によるキャッシュ・フロー	636,560	3,707,199
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,793	2,791
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	382,957	3,052,063
現金及び現金同等物の期首残高	1,643,490	2,284,819
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,026,447	5,336,882

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により内外経済をさらに下振れさせるリスクが顕在化しており、先行きに対する懸念材料があります。

当第2四半期累計期間においては、今後、少なくとも2020年12月まで一定の影響が継続する仮定のもと、固定資産の減損会計及び税効果会計の適用等の会計上の見積りを実施しております。

なお、現時点で入手可能な情報に基づいて最善の見積りを行っておりますが、今後の状況経過により影響が変化した場合には、当社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を与える可能性があります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。